

企業成長と経営者

神戸大学大学院教授
三品和広

- * 中堅ビジネスマンは何を渴望しているか
- * 日本企業を調べてわかったこと
- * 20世紀は大企業の時代として記憶される
- * 高収益企業の真の姿とは
- * トヨタが見せつけた企業成長の本質
- * 重要なのは成長へのギアチェンジ
- * 日米貿易摩擦対応にみるトヨタ・日産の違い
- * 変化や現象の奥を見抜く
- * 戦略決定は合議では不可能
- * 「後出しじゃんけん」の知恵



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）
今日は7年ぶりになります。三品先生にお

いでいただきました。1959年のお生まれで、
一橋大学、それからハーバード大学で博士号を
取られ、その後少して神戸大学のほうへ移ら
れて、そこで今教授をされておられます。

企業成長と経営者ということで、ここで何回
も議論はされておりますけれども、日本が低成
長から離脱するきっかけがなかなかつかめない
中で、企業におカネばかりたまっているという
ような話がありますが、どういうふうにかこれか
ら日本の企業が活力を取り戻していただけるのか、
そういったお話を今日はしていただけるのでは
ないかと思えます。

先生の最近のご著書をホールの外で販売して

おります。今日は特別価格でございますので、
ぜひお求めいただければと思います。

それでは先生、よろしく願っています。
（拍手）

中堅ビジネスマンは何を渴望しているか
皆さんこんにちは。神戸大学の三品と申しま
す。よろしく願っています。今日は「企業
成長と経営者」ということでお話し差し上げた
と思います。

お手元にお配りしたのは、トヨタ自動車と日
産自動車の比較になります。実は、これは廊下
に今積んでいただいている『経営戦略の実戦』
シリーズという本の中の第2巻から1ページを
抜いてきたものです。